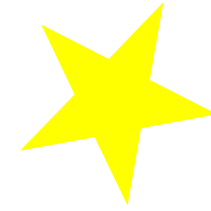
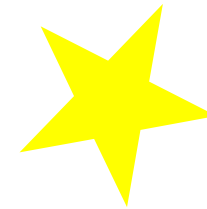
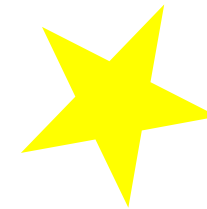
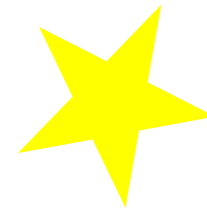
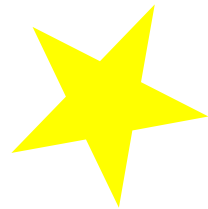


「エンデの遺言」解明プロジェクト
エンデ1 / エンデが言ったこと



4. エンデの言葉(1)



エンデの言葉を拾い出してみます。

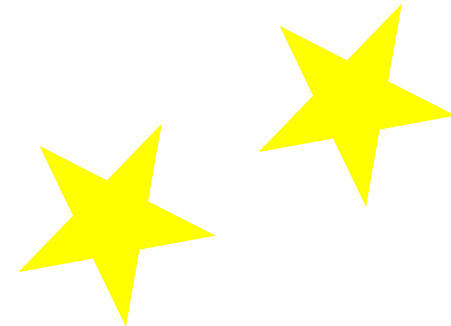
- 資料は

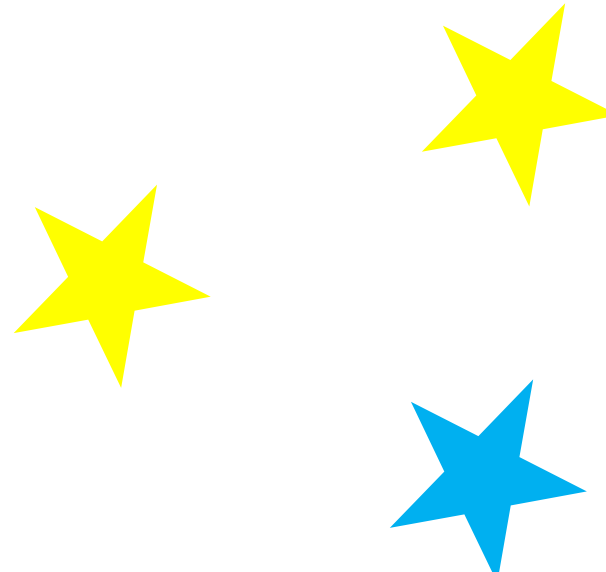
「エンデの遺言『根源からお金を問うこと』」
(河邑厚徳＋グループ現代著 NHK出版)

という本と、

「パン屋のお金とカジノのお金はどう違う？」
(廣田裕之著 オーエス出版)

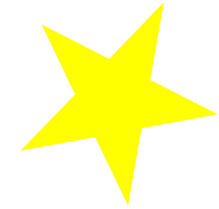
という本を使用しました。





- ちなみにエンデの言葉は長いので、
当分スライドは文字だらけです。
ゴメンナサイ…(^0^)

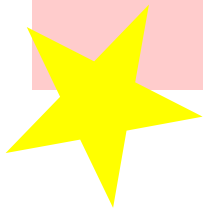
言葉01. 金融システム



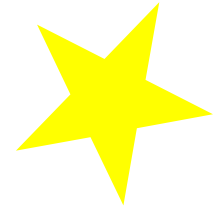
- 「どう考えてもおかしいのは資本主義体制下の金融システムではないでしょうか。

人間が生きていくことのすべて、つまり個人の価値観から世界像まで、経済活動と結びつかないものはありません。

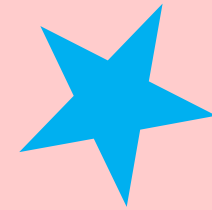
問題の根源はお金にあるのです」
（「エンデの遺言」14ページより）



言葉02. 予言的に…



- かつては過去の文化や歴史を学ぶことで、現代の問題にどう対処すべきかが了解できたが、



私たちがいま向き合っている「お金」の問題では、どう考えるべきかの規範が過去には何もない。

したがって、未来を想定し、何が起きてくるのかを予言的に直視しなければならない

(「エンデの遺言」17ページより)

